



学校報 「二中の木」



令和6年12月25日(水)
第18号 文責：校長 工藤 真弘
TEL：52-5138

一人一人の成長が学校全体の成長につながった二学期でした

二学期は二中祭をはじめ、保護者や地域の方々のたくさんのご協力をいただいて、充実した教育活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。
良い年をお迎えください。来年もよろしく願いいたします。

本日の終業式で生徒たちに次のようなお話をしました。

【終業式の校長の言葉より抜粋】

先日の生徒会選挙の際、現在の3年生が昨年度の3年生から「みんなで変化を創り出し新しい二中を創り出すこと」を見事に引き継いで更に進化させてくれていること、それを2年生がしっかり受け止めて引き継ごうとしていること、1年生はその姿を見て1年後の自分たちの姿を思い描いていることとお話ししました。今日は1年生が、先輩の姿を見て成長している例をお話しします。

先月、1年生が、来年二中に入学してくる小学校6年生を招いて、交流会を行いました。すごい光景を見ました。全校応援で行う「タイガースラッグ」を1年生だけで演奏し、6年生に教えて一緒に全員で踊る。二中若は音頭上げ、太鼓、笛、踊りを1年生だけでフルバージョン行ってみせ、「♪ちよーごれごれー♪」の盛り上がり方を6年生に教えてこれまた全員で盛り上がる。特に二中若、フルバージョンを1年生だけで披露したのは過去にさかのぼっても初かもしれません。しかも自分たちでやってみせるだけでなく、初めての人に教えて一緒にやる。そして楽しそうな表情、ビシッと決める表情、ほぼ完璧でした。これが二中生なんだよという誇り、4月から私たち先輩に任せてという自信に満ちていました。1年生のすごさに感動すると共に、なぜこんな高いレベルでできたのかを考えてみました。答えは簡単です。全校応援や二中若のやり方を自信をもってやれるだけの技術、全員で思い切りやる楽しみ方を、こうやるんだよって見本となって教えた人がいたからです。3年生、2年生、皆さんです。





全校応援は、辺りの空気を震わせるような全校一体のエネルギーでお互いを応援し合う姿が、かっこよすぎです。二中若は、練習の段階からプライドをもってがんばるから技がし

っかりしている、かっこいいだけでなく上手なんです。ここまでのレベルになると、人としての美しさを感じます。だから、こういう先輩になりたいという憧れが、1年生をここまでのレベルにしたと思います。先輩方、いい背中を見せてくれているんです。

皆さん一人一人の成長が、学年全体、学校全体の成長として大きな変化を創り出していることを心に刻み、手応えをしっかりと感じて新しい年を迎えてほしいと思います。



最後に、いつもの約束です。「交通事故に十分注意して命を落とさない」。それでは、皆さん一人一人にとって充実した冬休みが、良い年の初めになることを期待しています。

第65回秋田県児童生徒美術展 郡市審査入賞作品

1年：田中 海帆



1年：畠山 凜子



2年：亀谷 悠真



2年：菊地 七緒



3年：鈴木 明莉



3年：渡部優里奈



3年：藤井 るな

